

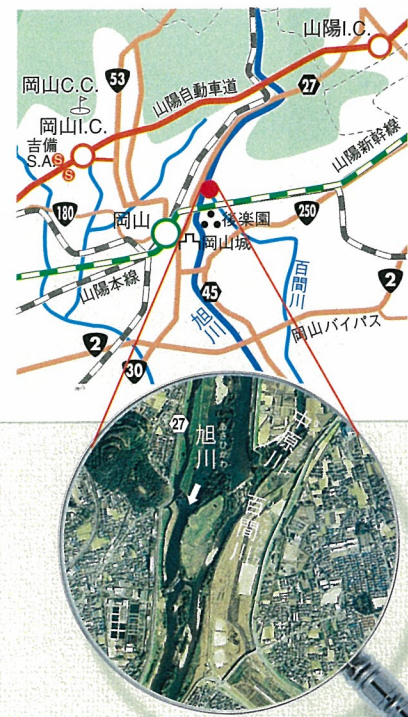
子どもの水辺

リバーマップ



ゲンジボタル

どのあたりにあるんだろ？



旭川・一の荒手地区
岡山市中原・今在家・中島地区
百間川河口から
11.6キロ～12.6キロ地域

旭川 一の荒手地区

ここは、複雑な地形をしているので、瀬、淵、ワンドといったさまざまな条件が整い、変化に富んだ魚や昆虫が見られます。カゲロウやトンボ、カワゲラなどの底生昆虫やそのほか、オヤニラミ、底生魚のギギやナマス、ブラックバスやカムルチーといった魚が確認されます。またホタル池の近くは、小さな子どもでも安心して水あそびができます。ホタルの観察にも役立ててください。

一の荒手付近でのようす。



川に行くときは、ニュースやインターネット、iモードなどで天気や川の様子をしらべておくとう安心です。



インターネット
<http://www.river.go.jp/>
iモード
<http://i.river.go.jp/>



百間川 荒手のしくみ

昔、文禄3年(1594年)岡山城城主宇喜多秀家が城を守るために川の流れを曲がりくねらせたため、たびたび城下が洪水におそわれました。承応3年(1654年)に大洪水を受けた後、時の藩主池田光政が熊沢蕃山の「川除けの法」として百間川の改修を行いました。3段の荒手をつくり遊水池と放水路を組み合わせて水の量を調整しようとしたのです。一の荒手はその最初の荒手で、百間川と旭川の分岐点にあります。



旭川の堤防 一の荒手 二の荒手 三の荒手 水田

昔の百間川は、普段は水が流れず、水田として利用されていました。しかし、洪水により旭川の水が増え、一定の高さを越えると、川の水は一の荒手を越え百間川に入り、二の荒手、三の荒手の間で流れを整えて、下流へ流れていきました。この二の荒手の長さが百間(約180m)あったため、百間川と呼ばれるようになったのです。現在、三の荒手はありません。

安全に楽しむための約束

- 1 川はみんなのものです。自分自身は自分で守ることを基本に行動しましょう。
- 2 ここには、たくさんの深み(瀬のすぐ下など)や流れの速いところがあります。浅いところで遊びましょう。
- 3 上流のダムが放流するときはサイレンが鳴ります。サイレンが鳴ったら早く川の中から出てください。
- 4 ひとりでは川に行かないようにしましょう。
- 5 子どもは一人では川に行かせないようにしましょう。また、子どもから目を離さないようにしましょう。
- 6 川に入るときは足を切らないように靴をはきましよう。
- 7 ゴミは持って帰りましよう。
- 8 車をとめる広場はあります。

緊急連絡先

110番
岡山西警察署
岡山市野殿東町2-10
TEL (086) 254-0110

119番

岡山市消防局 北消防署
岡山市番町2-1-1
TEL (086) 222-0119

国土交通省

岡山河川事務所
岡山市鹿田町2-4-36
TEL (086) 223-5101
旭川出張所
岡山市藤原西町2-3-30
TEL (086) 272-0125

R2100

発行：国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所
ご意見ご感想は
E-mail: okakawa5@po1.oninet.ne.jpまで
03.8.3000

一の荒手

リバーマップ

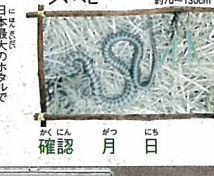
水あそびや魚釣りなどを楽しむことができます。
全体的に小さな子どもでも安心してあそんだり、自然を学んだりすることができます。

生き物図鑑

確認できたら
チェックしてみよう。



生息する代表的な生物				青字は写真掲載
植 物		魚 類	鳥 類	昆 虫
セイタカアワダチソウ オギ・ヨシ ツルヨシ オオキンケイギク セイヨウカラシナ ヤブカンゾウ ヒガンバナ	チガヤ・ガマ オランダガラシ ミソバ など	アイカワ オウ ゴクラクハゼ スジシマドジョウ カワムツ ムギツク オヤニラミ など	モズ オオヨシキリ カルガモ イナシギ ゴイサギ カウセミ など	ゲンバイトンボ ゲンジボタル タマムシ アシナガバチ ゴマダラチョウ など
小 動 物				
ウシガエル(両生類) ヌマガエル(両生類) ツチガエル(両生類) カナヘビ(爬虫類) シマヘビ(爬虫類) カヤネズミ(哺乳類) ジネズミ(哺乳類)	タヌキ(哺乳類) イタチ(哺乳類) ヒナコウモリ(哺乳類) アカネズミ(哺乳類) ハツカネズミ(哺乳類) ヌートリア(哺乳類) など			



他にも確認できたものを
記入しておきましょう。

写真提供 植物/備前市利(高島・旭電エコミュージアムを語る会) 魚類/清流卓雄
鳥類/日本野鳥の会 岡山県支部 その他/大井の木のいきいき (株)ウエスコ